

『南国市史(上巻)』 の予約受付

10月1日、限定発行

市制20周年記念として発行する『南国市史(上巻)』の予約を受け付けます。

この南国市史上巻は、地理および原始—中世編、A5版、1,200ページ。限定出版で、予約価格は5,000円、10月1日発行の予定です。

希望者は、早めに市教育委員会社会教育課へ、電話かハガキでお申込みください。(配付は、発行後市役所で代金と引き換え)

また下巻(近世—現代編)は55年に発行予定です。なお、上巻の内容などくわしいことは次号でお知らせします。

【社会教育課】

国民年金

現況届を忘れずに 指定の期日までに提出を

国民年金をもらっている人は、毎年一回「受給者現況届」を提出しなければなりません。

この届は、国が受給者の生存の有無を確認するとともに受給要件に変更がないかどうかを知るために提出して頂いているものです。

■障害年金・母子年金などの受給者は四月十八日まで

障害年金、母子年金、準母子年金、寡婦年金は、社会保険事務所で年金の支払いをしています。これらの年金をもらっている人は、社会保険事務所から三月末までに現況届の用紙が届けられています。

必要事項を記入して、市民係窓口の証明をうけ、四月二十八日までに市役所年金係へ提出してください。

■老齢年金・通算老齢年金の受給者はいますか?

これらの年金をもらっている人は、二月十五日までに現況届の提出を済ませられていると思いますが、まだ用紙を送っていない人があり、ましたら早急に、必要事項を記入

3人目の子供から児童手当

該当者は早めに申請を

家庭生活の安定と次代を担う子どもたちの幸せのために、児童手当制度が設けられています。

◇支給を受けられる人

(1)十八歳未満の児童を三人以上養っており、そのうち一人以上が義務教育終了前の児童(中学校を卒業するまでの児童)であること。

(2)これらの児童を養っている人の前年の収入が一定の額に満たないこと。(所得制限があります)

◇児童手当の額

三人以上の児童のうち、出生順に教えて三人目以降である義務教育終了前の児童一人について、マ市民税にかかる所得割額の

今月の納税
4月は軽自動車
税の納付月です。
納期限は5月1
日(月)までです。

ない受給者……月額六千円
マ所得割額課税の受給者……月額五千円

◇手当の支払いは、毎年度六月・十月・二月の三回にわけて支払います。

なお、手当はさかのぼってもらえません。請求手続きをした翌月から支払われますので、該当者でまだ申請していない人は今すぐ申請してください。

申請やくわしいことのおたずねは市民課給付係(内線132)へ。
マ市民課給付係

連絡員さん、ありがとう

市内318人の部落連絡員のみなさん、市民と行政との「パイプ役」としていつもお世話になっていきます。連絡員さんの交替は4月に一番多いようですが、新しく連絡員になられたみなさんも、市内全世帯へ市からの文書がでるだけ早く届けられますよう、よろしくお願いします。

なお、連絡員さんの変更や部数が変わるときは、電話で結納しますので、管理課庶務文書係☎3211(内線422)までご連絡ください。

庶務文書・広報広聴係



54年度集落整備事業

申請受付は4月30日まで

昭和五十四年度の「集落整備事業」の申請を、次のように受け付けます。

この事業は、集落の振興、整備を図るために、農道等の新設や改良、舗装、公民館の新築や改修などを行っているものです。

■対象事業および事業費は……

下表のとおり。

なお、事業費については、1/2を県費で、1/2を市費でそれぞれ補助し、残り1/4が地元負担となっています。

■申請の受付は……

昭和五十四年四月三十日まで、企画財政課またはそれぞれの担当課(建設課、産業経済課、教育委員会など)で受け付けます。

■くわしいことのおたずねは……

企画財政課企画調整係(内線433)へ。
【企画調整係】

対象事業	事業費
小規模農林漁業道および橋	50万円～100万円
複合集会所	50 ～ 300
部落公民館	50 ～ 100
小規模社会体育施設等	50 ～ 100
テレビ共同受信施設	50 ～ 200
小規模防災施設	50 ～ 100
特認事業	50 ～ 300

サークルへ参加を……手作り袋物

「手作り袋物サークル」の会員を次のように募集します。

■時間……毎週大曜日

午後七時～九時

■場所……中央公民館和室

■講師……森田つや子先生

(岡豊町中島)

■期間は五ヵ月、三十回で修了。

■作品数は約十個。

■費用……材料費は個人負担。

■定員……二十～三十人で先着順。会員が集まり次第第開講(五月開講予定)します。

■申込み、おたずねは中央公民館☎3498まで。

④3498まで。



ちょっとした心づかいも味のうち

日本専売公社

第五回南国市はし拳大会

百三十五人の拳士が参加

これへこい。よっしゃ、三本。

【第五回南国市はし拳大会】

が三月二十五日、市民体育館で四十五チーム、百三十五人の「拳士」が参加して開かれました。

この大会は、市役所庁舎落成を記念して、四十七年から市観光協会が開いているもの。

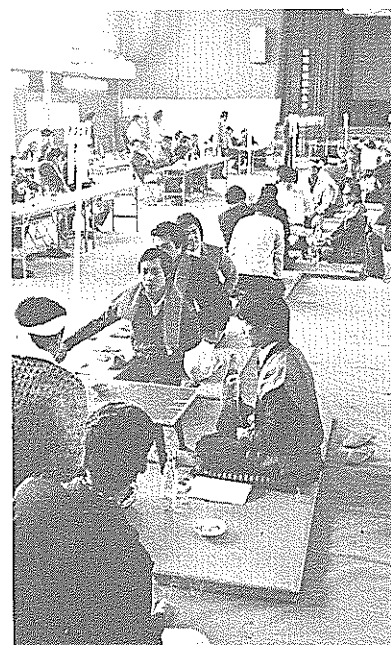
当日は、午後一時から沢村武一市観光協会会長あいさつ、競技のルール説明、前年度優勝チームの闘

上安男さん(篠原寿チーム)の宣誓などが行われたあと、競技開始。

競技は団体戦(一チーム三人)と個人戦にわかれて、八つの土俵でリーグ戦。競技結果は日本はし拳協会の段位認定の参考になるとあって、各拳士も真剣そのもの。

午後六時まで、四時間あまりの熱戦の結果、後免二組と川村雅満さんがそれぞれ優勝しました。

年ごとに盛大になるのははし拳



大会。沢村市観光協会会長は「女性拳士、若い人の参加が多くなりました。将来は、市内の人だけでなく、市外の人にも参加できる県下の大会にしていきたい」と話していました。

く、市外の人にも参加できる県下の大会にしていきたい」と話していました。

★個人戦

横綱 川村雅満(伊達野)
大関 山岡正和(立石)
関脇 森岡弘(浜改田)
小結 森岡年春(浜改田)

★団体戦

①後免三組(高島邦明、横田幸寿、杉本光男)

②通運南国(久保敏智、山崎忠徳、高橋慎夫)

③篠原西(窪田四郎、野村辰夫、池本静也)

④浜改田C(松本正幸、神出博、森岡年春)